

資料番号

2

令和5年9月27日

課名 商工労働局

コロナ機動的経済支援プロジェクトチーム

担当者 担当課長 三牧

内線 3460

## 広島県経済の動向

令和5年9月27日

商工労働局

# 目 次

I	経済動向の概要	1
1	国内経済の動向	
2	広島県経済の動向	
II	県内主要製造業の生産動向	3
1	鉄鋼	
2	自動車	
3	造船	
4	一般機械	
5	電気機械	
III	県内小売業等の動向	5
1	百貨店・スーパー	
2	宿泊・飲食サービス	
3	観光	
IV	中小企業の動向	7
1	概況	
2	景況感・景況感の変化	
3	前月から変化のあった主な業種	
V	企業倒産状況	9
1	概況	
2	業種別	
3	原因別	
4	今後の見通し	
VI	最近の雇用失業情勢	10
1	県内の有効求人・求職の動向	
2	県内の新規求人・求職の動向	
3	県内の人員整理の状況	
4	完全失業率の状況(全国・県内)	

(注)「広島県経済の動向」は、国、その他機関等から発表される各種指標を編集、加工し、とりまとめたものです。

# I 経済動向の概要

## 1 国内経済の動向

### (1) 概要

指 標	R5年		
	6月	7月	8月
基調判断	景気は、緩やかに回復している		
輸出	底堅い動きとなっている		このところ持ち直しの動きがみられる
生産	持ち直しの兆しがみられる		
設備投資	持ち直している		
雇用情勢	このところ改善の動きがみられる		改善の動きがみられる
個人消費	持ち直している		
住宅建設	底堅い動きとなっている		おおむね横ばいとなっている
企業収益	総じてみれば緩やかに改善している		

### (2) 先行き

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

【内閣府「月例経済報告」(令和5年8月28日公表)】

## 2 広島県経済の動向

### (1) 概要

指 標	R5年		
	5月	6月	7月
基調判断	持ち直している		
輸出	供給制約の影響が和らぐもとで、持ち直し基調にある		
生産	持ち直しのペースが鈍化している	緩やかながら持ち直し基調にある	
設備投資	緩やかに持ち直している		
雇用情勢	全体として緩やかに改善している		
個人消費	緩やかに回復している		
住宅投資	横ばい圏内の動きとなっている		

### (2) 県内の経済の先行き

先行きの景気は、徐々に改善に向かうことが期待されるが、物価動向や供給制約、海外経済の動向などが県内の経済金融情勢に与える影響を引き続き注視していく必要がある。

【日本銀行広島支店「広島県の金融経済月報」（令和5年8月4日公表）】

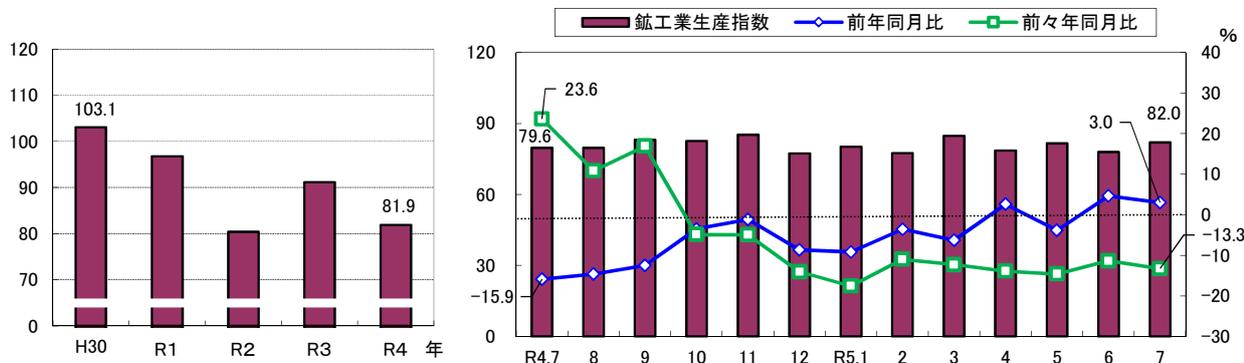
## II 県内主要製造業の生産動向

### 1 鉄鋼(令和5年7月)

7月の鉱工業生産指数(鉄鋼業、原指数、速報値、平成27年=100)は82.0で、前年同月比で3.0%増加、前々年同月比で13.3%減少となっている。

鉱工業生産指数(鉄鋼業)(年別・月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】

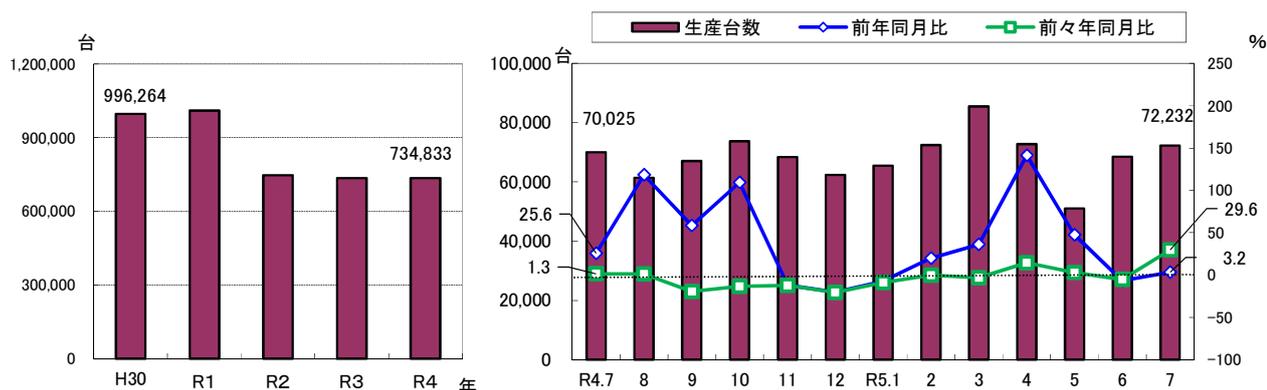


### 2 自動車(令和5年7月)

7月の国内生産台数は72,232台で、前年同月比で3.2%増加、前々年同月比29.6%増加となっている。

自動車生産台数(年別・月別・前年同月比・前々年同月比)

【マツダ(株)】

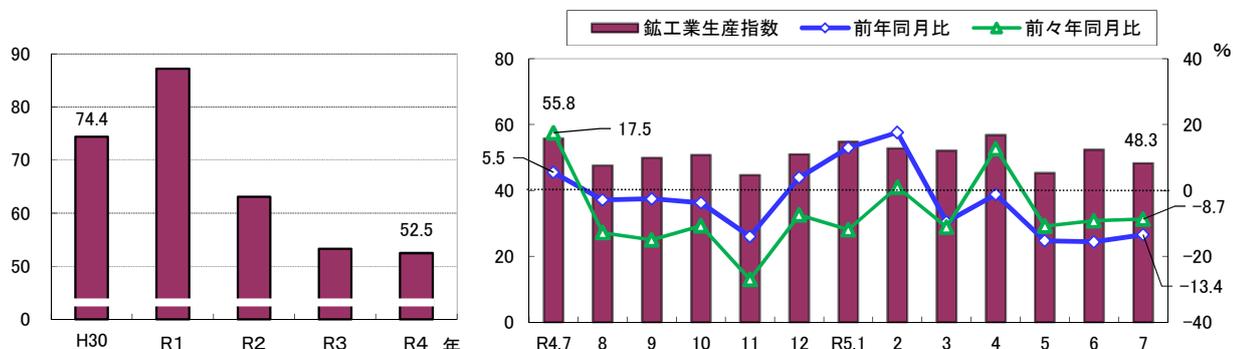


### 3 造船(令和5年7月)

7月の鉱工業生産指数(造船部門、原指数、速報値、平成27年=100)は48.3で、前年同月比で13.4%減少、前々年同月比で8.7%減少となっている。

鉱工業生産指数(造船部門)(年別・月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】

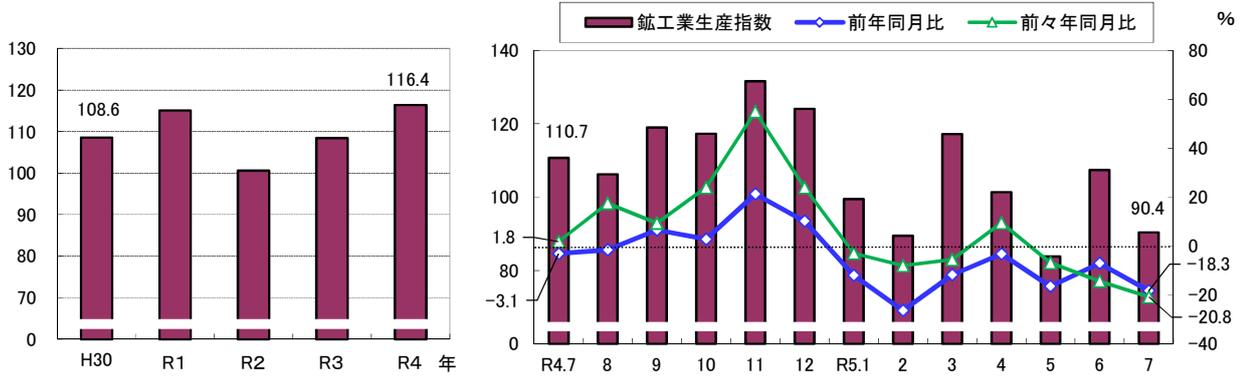


#### 4 一般機械(令和5年7月)

7月の鉱工業生産指数(一般機械工業(総合)、原指数、速報値、平成27年=100)は90.4で、前年同月比で18.3%減少、前々年同月比で20.8%減少となっている。

鉱工業生産指数(一般機械(総合))(年別、月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】

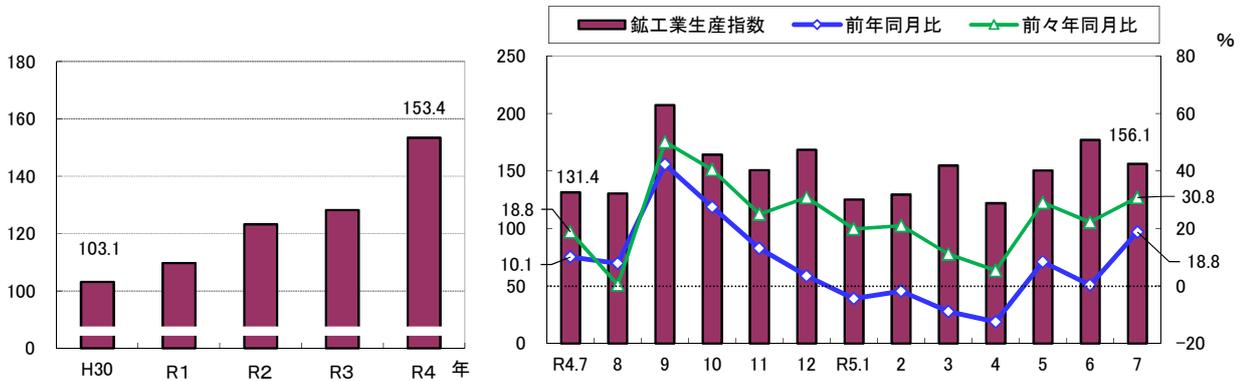


#### 5 電気機械(令和5年7月)

7月の鉱工業生産指数(電気機械工業(総合)、原指数、速報値、平成27年=100)は156.1で、前年同月比で18.8%増加、前々年同月比で30.8%増加となっている。

鉱工業生産指数(電気機械工業(総合))(年別、月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】



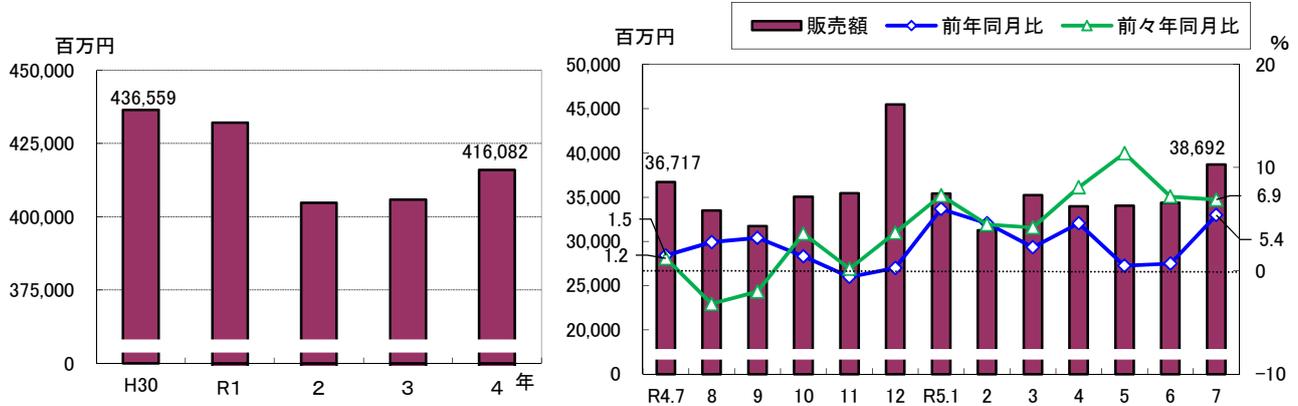
### Ⅲ 県内小売業等の動向

#### 1 百貨店・スーパー(令和5年7月)

広島県の7月の販売額は、38,692百万円(速報値)で全店舗前年同月比で5.4%増加、前々年同月比6.9%増加となっている。

【中国経済産業局】

中国地域百貨店・スーパー販売動向(広島県)(年別、月別・前年同月比・前々年同月比)



#### 2 宿泊・飲食サービス(令和5年6月)

広島県の6月の業種別業況判断D. I. (宿泊・飲食サービス)は、25%ポイントと前回調査時より25%ポイント改善している。

(「良い」-「悪い」、%ポイント)

調査月	令和4年12月	令和5年3月	令和5年6月	
			最近	先行き
業況判断D. I. (変化幅)	▲ 13 (+25)	0 (+13)	25 (+25)	37 (+12)

【日本銀行広島支店「企業短期経済観測調査結果の概要」(令和5年7月3日公表)】



(注) 業況判断D. I. (「良い」-「悪い」回答者数構成比)

### 3 観光

#### (1) 宿泊者数(令和5年6月)

直近の数値である、令和5年6月の宿泊者数は、81.8万人で、前年同月と比べ20.3万人泊増(+33%)で、コロナ前の令和元年同月と近い水準(93%)まで回復した。また、外国人宿泊者数も6月は9.1万人で、コロナ前の令和元年同月と比べて9割以上まで回復した。

【観光庁 宿泊旅行統計調査】

(単位: 万人泊)

区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1-6月計	
広島県	宿泊者数	70.4	68.3	96.1	94.6	106.2	81.8	発表前						517.5	
	R4年宿泊者数	48.0	41.5	64.9	66.2	73.4	61.5	75.7	87.6	76.1	84.3	90.2	83.5	355.6	
	R4年比	147%	164%	148%	143%	145%	133%	—	—	—	—	—	—	146%	
	R元年宿泊者数	74.4	77.1	101.8	108.7	108.7	87.5	94.2	114.8	97.7	111.5	101.1	85.3	558.4	
	R元年比	95%	89%	94%	87%	98%	93%	—	—	—	—	—	—	93%	
全国	宿泊者数	3,949	4,114	5,068	4,554	4,926	4,533	発表前						27,144	
	R4年比	142%	179%	153%	139%	134%	134%	—	—	—	—	—	—	145%	
外国人	広島県	外国人宿泊者数	3.2	3.2	9.0	15.2	11.1	9.1	発表前						50.8
		R元年宿泊者数	7.0	6.2	11.6	18.1	12.5	9.8	12.7	10.5	9.3	16.5	10.6	7.4	65.2
		R元年比	47%	51%	77%	84%	89%	93%	—	—	—	—	—	—	78%
	全国	外国人宿泊者数	606	593	755	952	877	934	発表前						4,716
		R元年比	66%	64%	79%	84%	90%	97%	—	—	—	—	—	—	80%

※出典：観光庁宿泊旅行統計調査

R元年およびR4年の宿泊者数は、確定値を反映。R5年は速報値で、宿泊旅行統計調査の確定値公表時に置き換えるものとする。

なお、数値については、単位未満の端数処理を行っているため、表内で一致しない場合がある。

#### (2) 県内主要観光施設の観光客数(令和5年7月)

5月～7月は、新型コロナウイルスの5類移行に伴う外出機運の高まりなどにより、R元年同期水準を上回る施設が複数見受けられ、コロナ禍前の水準に戻りつつある。

【各観光施設からの聞取調査】

(単位: 人)

観光施設	R元年			R4年			R5年			
	5月	6月	7月	5月	6月	7月	5月	6月	7月	
広島平和記念資料館		241,864	150,107	130,919	100,451	73,041	59,681	174,513	169,049	149,750
	R元年比	—	—	—	—	49%	46%	72%	113%	114%
	R4年比	—	—	—	—	—	—	174%	231%	251%
宮島来島者数		538,903	301,989	292,467	280,006	175,297	181,961	392,775	313,426	308,642
	R元年比	—	—	—	52%	58%	62%	73%	104%	106%
	R4年比	—	—	—	—	—	—	140%	179%	170%
大和ミュージアム		114,423	62,797	72,655	55,854	32,597	39,760	71,733	50,038	59,151
	R元年比	—	—	—	49%	52%	55%	63%	80%	81%
	R4年比	—	—	—	—	—	—	128%	154%	149%
道の駅たけはら		17,514	12,987	13,975	13,585	11,269	11,464	10,741	9,176	8,621
	R元年比	—	—	—	78%	87%	82%	61%	71%	62%
	R4年比	—	—	—	—	—	—	79%	81%	75%
神楽門前湯治村(定期公演)		3,810	2,707	2,099	2,482	1,728	1,675	2,391	2,262	1,899
	R元年比	—	—	—	65%	64%	80%	63%	84%	90%
	R4年比	—	—	—	—	—	—	96%	131%	113%
千光寺ロープウェイ		58,650	30,611	35,979	51,565	23,007	28,606	49,308	30,378	34,944
	R元年比	—	—	—	88%	75%	80%	84%	99%	97%
	R4年比	—	—	—	—	—	—	96%	132%	122%
福山市鞆の浦歴史民俗資料館		1,725	1,154	912	1,722	887	970	1,917	853	829
	R元年比	—	—	—	100%	77%	106%	111%	74%	91%
	R4年比	—	—	—	—	—	—	111%	96%	85%
国営備北丘陵公園(千人)		77	22	28	56	17	26	46	26	26
	R元年比	—	—	—	72%	79%	92%	59%	120%	90%
	R4年比	—	—	—	—	—	—	81%	152%	98%

## IV 中小企業の動向(令和5年8月)

【広島県中小企業団体中央会（令和5年9月15日時点）】

### 1 概況

広島県内の中小企業の多くが、原材料費、燃料代、運賃などの高騰に加えて円安の進行、人件費の上昇等といった様々な要因が経営状況を圧迫している様子が窺える。一部の業界では回復傾向が見られるものの依然として、多くの中小企業を取り巻く経営環境は改善の見通しが立たず、引き続き今後の動向を注視する必要がある。

自動車関連業種では、国内自動車販売台数は前年同月比+8.5%と11ヶ月連続で増加。マツダ車は前年同月比+1.8%となった。

また、木材業界では、全国の令和5年7月の新設住宅着工戸数は68,151戸で前年同月比▲6.7%。広島県内の着工戸数は1,239戸で、対前年同月比▲27.9%となった。

※マツダ車に関する記載はマツダ（株）が発表する「7月の生産・販売状況について（速報）」に基づく

※木材業界に関する記載は7月分のデータを掲載

### 2 景況感・景況感の変化

業種	7月の景況感	8月の景況感
食料品	やや悪い	やや悪い
繊維・衣服	普通	普通
木材	悪い	悪い
家具	やや悪い	やや悪い
印刷	普通	普通
化学	やや悪い	やや悪い
プラスチック製品	普通	普通
土石製品	悪い	悪い
鉄鋼(鋳物)	普通	やや悪い
金属製品	普通	普通

業種	7月の景況感	8月の景況感
一般機械器具	普通	普通
電気機械器具	やや悪い	やや悪い
自動車部品	普通	普通
造船	やや好況	やや好況
建設	やや悪い	やや悪い
トラック輸送	やや悪い	やや悪い
内航海運	やや悪い	やや悪い
卸売	やや悪い	やや悪い
小売	やや悪い	やや悪い
情報サービス	普通	普通

(単位：業種)

景況感	7月	8月	増減
好況	0	0	0
やや好況	1	1	0
普通	8	7	▲1
やや悪い	9	10	1
悪い	2	2	0

### 3 前月(7月)から変化のあった主な業種

業種	7月の景況感	8月の景況感	変化の理由・状況
鉄鋼(鋳物)	普通	やや悪い	<p>・昨年と比べ、今年の7月～9月の受注状況が減少傾向である。猛暑に依る工事の遅れ、新型コロナウイルスによる工事遅延等の影響も有ると思われる。</p> <p>【軀鉄鋼協同組合連合会】</p>

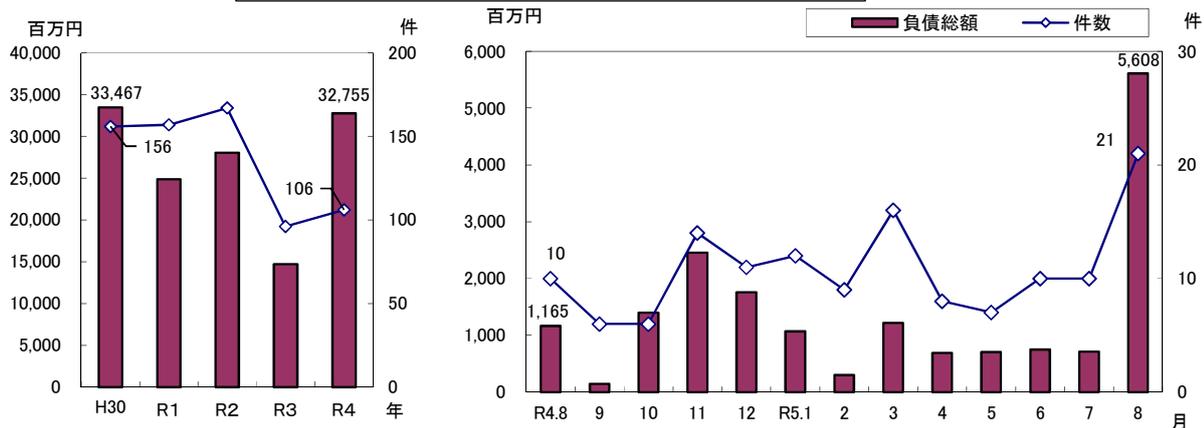
## V 企業倒産状況(令和5年8月)

### 1 概況

- ・負債総額1,000万円以上の倒産は、件数が21件、総額56億800万円であった。
- ・前月比で件数は11件増加し、負債総額は48億9,200万円増加した。
- ・前年同月比では、件数は11件増加し、負債総額は44億4,300万円増加した。
- ・大型倒産(負債総額10億円以上)の発生は1件あった。

区 分	令和5年6月	令和5年7月	令和5年8月
件 数 (前年同月比)	10件 (16.7%減)	10件 (100.0%増)	21件 (110.0%増)
負債総額 (前年同月比)	748百万円 (96.4%減)	716百万円 (33.1%増)	5,608百万円 (381.4%増)

企業倒産件数・負債総額(1,000万円以上)(年別・月別・前年同月比)



### 2 業種別

件数は、卸・小売・飲食業が10件、製造業、サービス業が各3件、建設業、運輸・通信業が各2件、その他が1件となった。

負債総額では、サービス業、卸・小売・飲食業、製造業、運輸・通信業、建設業、その他の順となった。

### 3 原因別

原因別では、販売不振が17件、既往のシワ寄せが3件、他社倒産の余波が1件であった。

### 4 今後の見通し

令和5年8月度の倒産件数は21件となり、令和2年4月以降、39ヶ月ぶりに倒産件数が20件を突破した。

業歴別倒産状況では30年以上が8件、20年以上30年未満が5件、10年以上20年未満が6件と業歴10年以上の倒産が全体の90.4%を占め、前月7月度では業歴10年以上の倒産が全体の50.0%と比較的業歴の長い企業の倒産が続いている。

原因別にみると販売不振が17件で最多となり、既往のシワ寄せは3件、売掛金回収難は無かったが、これらを合計した不況型倒産は20件で全体の95.2%を占めた。

そのような中、新型コロナウイルスを要因とした倒産は8月度21件中12件発生し、これまでの累計は160件(負債総額1,000万円以上)となり、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う対応として調達したゼロゼロ融資から3年が経過し、ロシアのウクライナ侵攻や円安、物価高を背景とした原材料や燃料費の価格高騰に対応できず、体力が低下した企業が返済を迫られ、倒産に至っているケースが散見される。

ゼロゼロ融資は、コロナ禍で急激な業績悪化に見舞われた中小・零細企業の資金繰り支援として実施され、劇的な倒産抑制をもたらした。だが、副反応として過剰債務に陥った企業は多い。返済がピークを迎えるなか、業績回復に至らず倒産に追い込まれる企業が増えている。コロナ禍は出口が見えつつあるが、ロシアのウクライナ侵攻や円安進行で原材料やエネルギー価格が上昇するほか、人手不足に伴う人件費の高騰などが中小企業の経営を直撃している。

商品やサービス価格への転嫁が進まず、収益が低下するなか、ゼロゼロ融資は返済がピークを迎えた。元金だけでなく利子返済も加わり、返済の負担が増している。政府は今年1月、中小企業の急激な資金繰りの悪化を防ぐ手立てとして「コロナ借換保証」を創設したが、金融機関の継続的な伴走支援などが必要なることもあり、浸透しているとは言い難い。抜本的な経営改善が見出せない企業に対して、これまで通りの資金繰り支援に止まるのか、本業支援を含めた支援まで広げるのか、対応が急がれる。

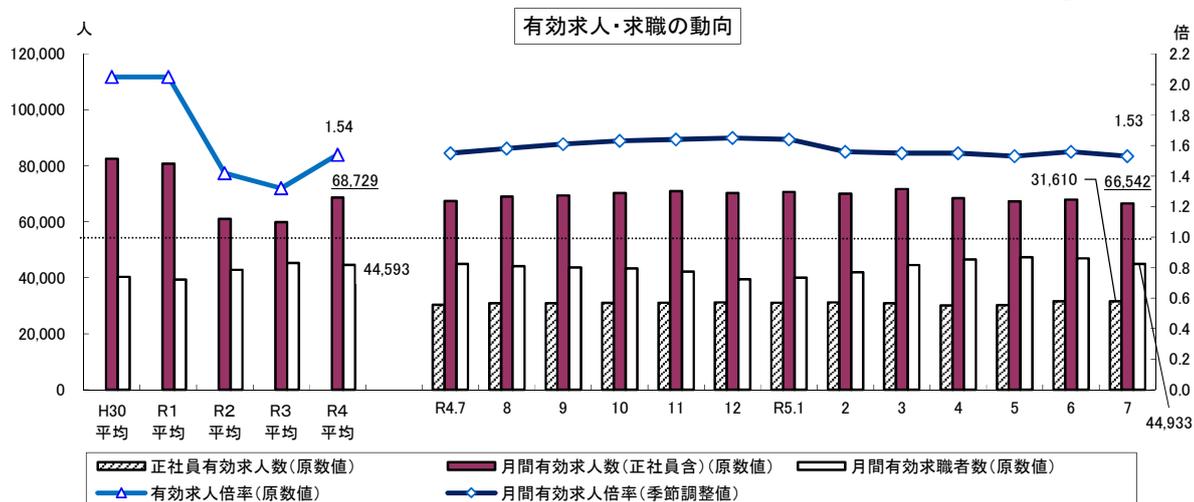
【(株)東京商工リサーチ(9月8日時点)】

## VI 最近の雇用失業情勢(令和5年7月)

### 1 県内の有効求人・求職の動向

区 分	令和5年5月	令和5年6月	令和5年7月
有効求人倍率(季節調整値) (前月比)	1.53倍 (▲ 0.02ポイント)	1.56倍 (+0.03ポイント)	1.53倍 (▲ 0.03ポイント)
正社員有効求人倍率 (前年同月比)	1.10倍 (+0.05ポイント)	1.16倍 (+0.07ポイント)	1.19倍 (+0.04ポイント)

【広島労働局】



(注1) 正社員有効求人倍率は、正社員の有効求人数をパートタイムを除く常用有効求職者数(派遣労働者や契約社員を希望する者も含む)で除して算出しているため、厳密な意味での正社員有効求人倍率より低い値となる。

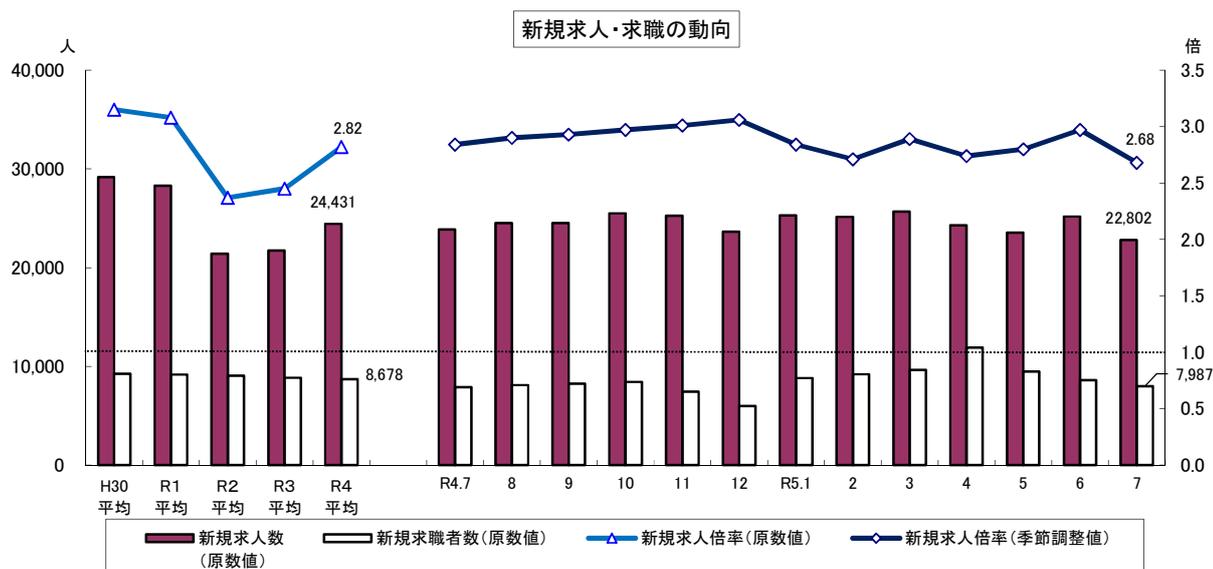
(注2) 正社員有効求人倍率は、季節調整されていない。

(注3) 令和4年12月以前の季節調整値は改訂されている。(令和5年1月分公表時改訂)

### 2 県内の新規求人・求職の動向

区 分	令和5年5月	令和5年6月	令和5年7月
新規求人倍率(季節調整値) (前月比)	2.80倍 (+0.06ポイント)	2.97倍 (+0.17ポイント)	2.68倍 (▲ 0.29ポイント)

【広島労働局】

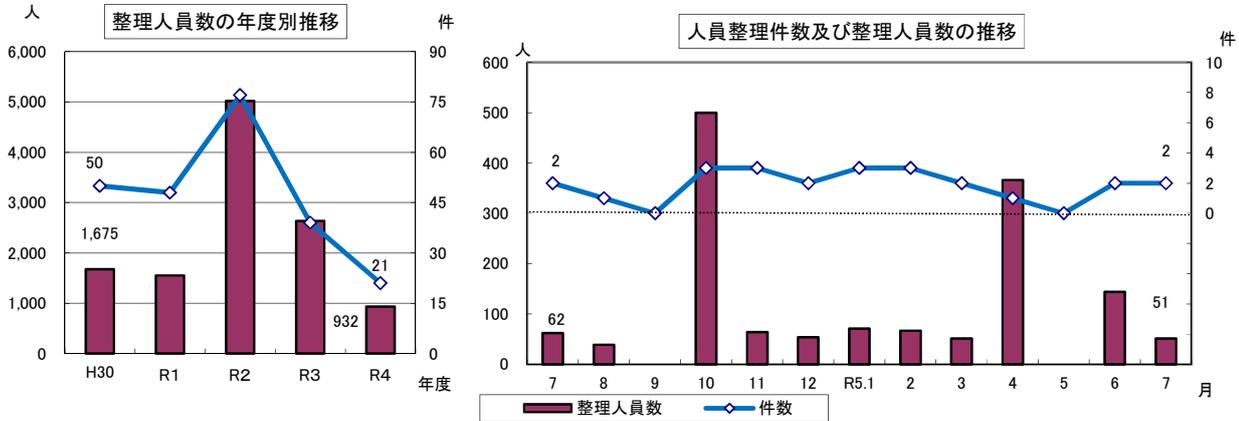


(注) 令和4年12月以前の季節調整値は改訂されている。(令和5年1月分公表時改訂)

### 3 県内の人員整理の状況(整理人員10人以上)

区 分	令和5年5月	令和5年6月	令和5年7月
件数 (前年同月比)	0件 (± 0件)	2件 (+ 2件)	2件 (± 0件)
整理人員 (前年同月比)	0人 (± 0人)	144人 (+ 144人)	51人 (▲ 11人)

【広島労働局】

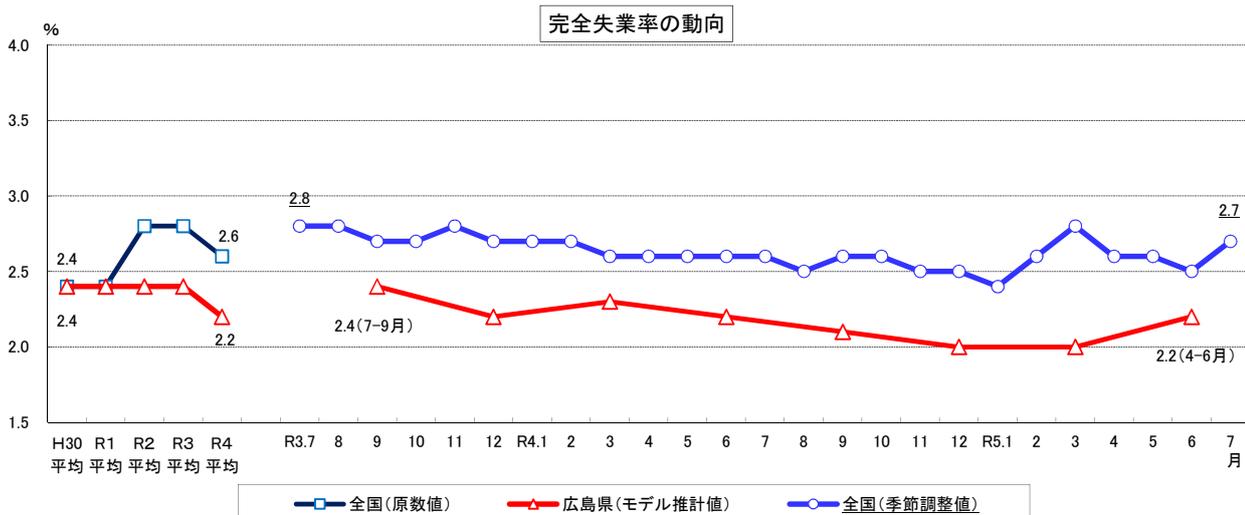


### 4 完全失業率の状況

区 分	令和5年5月	令和5年6月	令和5年7月
全国完全失業者数 (前年同月比)	188万人 (▲ 3万人)	179万人 (▲ 7万人)	183万人 (+ 7万人)
全国完全失業率(季節調整値) (前月比)	2.6% (+0.0ポイント)	2.5% (▲ 0.1ポイント)	2.7% (+0.2ポイント)

区 分	令和4年		令和5年	
	10~12月平均	1~3月平均	4~6月平均	
広島県完全失業率 (モデル推計値) (前年同期比)	2.0% (▲0.2ポイント)	2.0% (▲0.3ポイント)	2.2% (±0.0ポイント)	

【総務省統計局】



※ 広島県(モデル推計値)は、毎年1~3月期平均公表時に、新たな結果を追加して再計算を行い、前年までの四半期平均及び年平均結果を過去にさかのぼって一部改定している。